

# 警 防 業 務 の 実 施 状 況

平成21年中、火災は45件発生しており、前年の41件より4件増加しています。

火災種別では、建物火災（22件）が最も多く発生しており、次いでその他火災（19件）、車両火災（2件）林野火災及び船舶火災（各1件）の順となっています。

火災による損害額は、火災件数が増加しているにもかかわらず、昨年に比べ大幅に減少し、火災による死者及び負傷者も減少しています。

町別の火災発生件数は、印南町が20件で最も多く、次いで美浜町が7件、日高川町が6件となっており、この3町で全体の約70%以上を占めています。

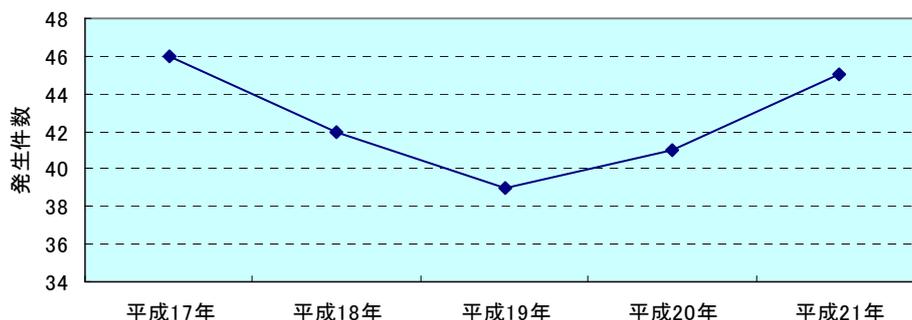
また、火災に準ずる災害（その他災害等）は、212件で昨年より19件増加しています。

## 1 火災の概要（第1表～第10表）

### (1) 火災件数の増減（第1表）

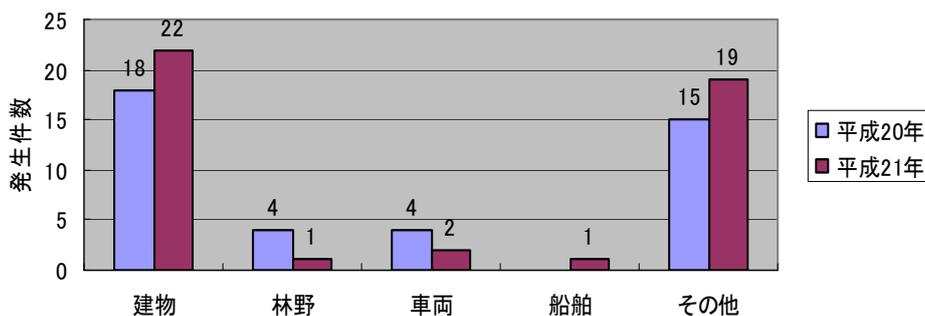
平成21年中の火災件数は45件で、前年に比べ4件の増加となっています。（図1）

図1 火災件数の推移



これを火災種別でみると、増加したのは建物火災22件（4件増加）、その他火災19件（4件増加）及び船舶火災1件（1件増加）で、減少したのは林野火災1件（3件減少）と車両火災2件（2件減少）となっています。（図2）

図2 火災種別ごとの増減



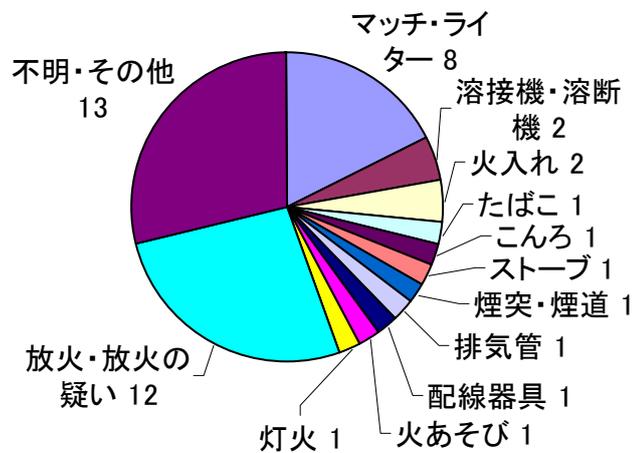
建物焼損棟数は22棟で、前年(25棟)に比べ3棟減少しており、火災による損害額も4,649万円と前年に比べ7,420万円の大幅な減少となっています。

人的被害は、死者が2人(負傷者は発生なし。)発生していますが、前年に比べそれぞれ減少しています。

(2) 出火原因 (第2表)

出火原因は「不明・その他」を除いて、「放火・放火の疑い」が12件と最も多く、次いで「マッチ・ライター」の8件となっています。(図3)

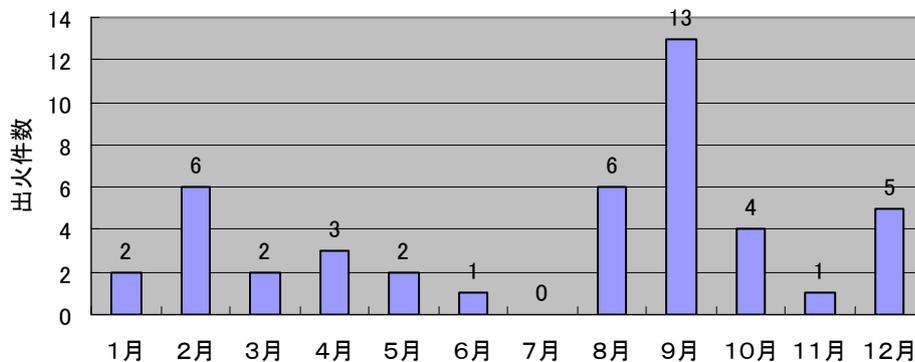
図3 出火原因割合(総件数45件)



(3) 月別の出火件数 (第3表)

火災件数を月別にみると、9月に13件と最も多く発生し、次いで2月及び8月に6件、12月に5件の順となっています。(図4)

図4 月別出火件数(総件数45件)



(4) 町別火災件数 (第4表・第5表)

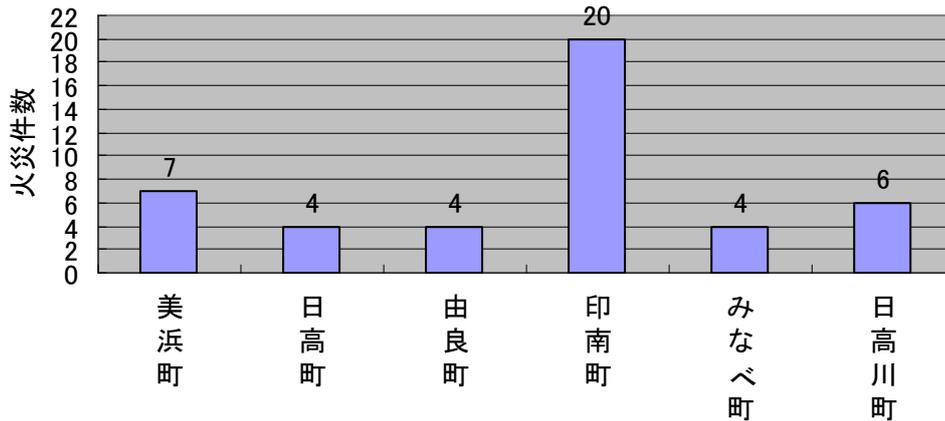
火災件数を町別にみると、印南町が20件と最も多く発生し、次いで美浜町の7件、日高川町の6件となっています。(図5)

出火率（人口1万人当たりの火災件数）で見ると、印南町の21.4が最も高く、次いで美浜町の8.7となっています。

なお、全国の出火率平均4.1（平成20年中）を下回っているのは、みなべ町（2.8）の1町のみでした。

損害額を町別にみると、印南町が2,653万円と最も多く、次いで日高町の1,549万円となっています。

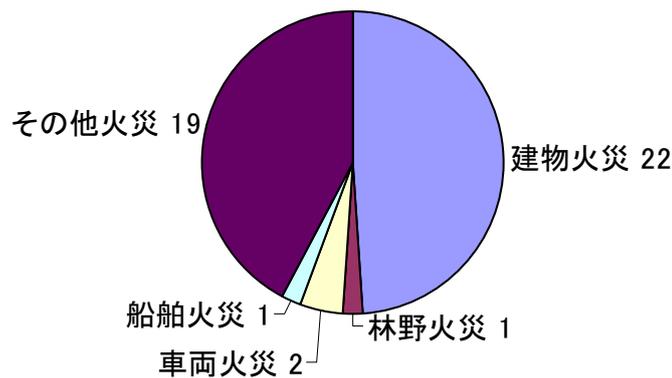
図5 町村別火災件数（総件数45件）



(5) 火災種別の割合（第6表）

火災種別の割合についてみると、建物火災が22件で最も多く、次いでその他火災が19件となっており、この2種別で全体の約90%を占めています。（図6）

図6 火災種別の割合（総件数45件）



(6) 季節別火災件数（第7表）

火災件数を四季別で見ると、秋期が18件（40.0%）と最も多く、次いで冬期の13件（29.0%）、春期及び夏期の7件（15.6%）の順となっており、秋期から冬期にかけて火災が多く発生しています。

(7) 時間帯別火災発生件数 (第8表)

火災件数を時間帯別にみると、深夜3時から4時までの間に5件と最も多く発生していますが、比較的各時間帯に分散して発生しています。

(8) 気象別火災発生件数 (第9表)

火災件数を気象別にみると、晴れた日に38件発生しており、全体の84%を占めています。

(9) 覚知別火災件数 (第10表)

火災件数を覚知別にみると、消防専用電話(119番通報)による通報が33件で、全体の73%を占め、そのうち12件が携帯電話による通報となっています。

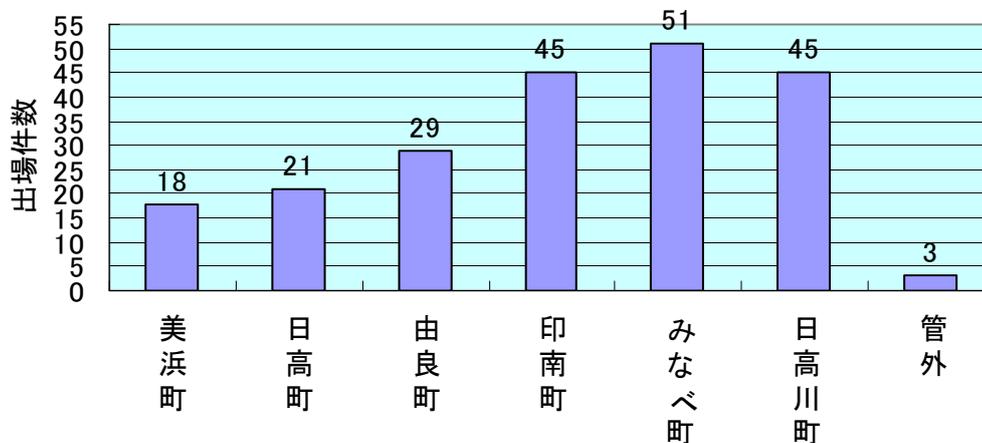
## 2 火災に準ずる災害の出場件数 (第11表)

平成21年中における火災に準ずる災害(その他災害等)の出場件数は212件で、前年と比較して19件の増加となっています。

内訳は、「救急支援」による出場が160件(75%)と最も多くなっています。

町別では、みなべ町が51件と最も多く、次いで印南町と日高川町の45件となっています。最も少ないのは管外を除けば、美浜町の18件となっています。(図7)

図7 町別その他災害等出場件数(総件数212件)



## 3 署所別の出場状況 (第12表・第13表)

(1) 火災の状況

火災の発生状況を署所別にみると、印南出張所管内が21件(46.6%)と最も多く、次いで本署管内の17件(37.8%)となっています。

(2) その他災害等の状況

その他災害等の発生状況を署所別にみると、本署管内が78件(37%)で最も多く、次いで南部出張所管内が51件(24%)、印南出張所管内が49件(23%)となっています。